



# 氷の海の実態を明らかにし、将来を予測する

海洋情報基盤学 山口研究室

## こんな研究に取り組んでいます

極域海洋は地下資源・生物資源の宝庫であり、地球の気候システムの中でも重要な場所です。私たちは世界最先端の数値海水モデリング技術と人工衛星データの解析技術によって、極域海洋の実態解明と将来予測のための研究をすすめています。

## こんなことが分かってきました

- ・オホーツク海の海水変動数値モデルを使った研究
  - － 氷海で油が流出した時の挙動予測システムを作りました
  - － 海水分布予測の高精度化をすすめています
- ・人工衛星データを使った研究
  - － 北極海水の夏の海水分布予報を行なっています
  - － 世界中の海水域について、その変動メカニズムが明らかになってきました

## 成果はこんな分野に活かされています

「海水分布の予測」や「温暖化予測の高精度化」などに直接貢献することはもちろんですが、オホーツク海の海水はどこから来るのか？北極海の海水はなぜ減っているのか？など、誰も知らない謎を明らかにすることを目指しています。

関連展示：環境棟1階172号室(ポスター展示)

連絡先： 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 海洋技術環境学専攻  
山口一(教授) : h-yama@k.u-tokyo.ac.jp  
研究室HP : <http://www.1.k.u-tokyo.ac.jp>

